

# 沖縄県知事コメント

令和3年2月10日(水)

沖縄県緊急事態宣言を発出してから3週間が経過しました。

緊急事態宣言の開始日の1月20日時点と比べると、療養者数は798人から512人に、1週間あたりの新規感染者数は652人から244人に減るなど、県民の皆さまからご協力いただいている成果は着実に数字となって表れてきつつあります。

しかし、重症・中等症の患者数については130人から167人に増加し、病床占有率は80%前後と高止まりとなっているなど、医療提供体制のひっ迫度は改善しているとは言えず、警戒レベルは第4段階にあります。

そのような中、今週は2月11日から飛び石連休や旧正月があり、人と人が交流する機会が増えることが予想されるため、更なる注意が必要となります。特に、渡名喜島や久高島、浜比嘉島など来島自粛を求めている離島への往来については、医療体制が脆弱であるため、控えてくださいますようお願いいたします。

感染収束に向かう流れを確実なものとするため、引き続き、不要不急の外出は控えてください。

行事などについては、普段から一緒にいる同居家族でお出かけください。

旧正月の挨拶回りについても、玄関先で済ますなど、短時間となるよう、工夫をお願いします。

親族同士での会食を予定されている方もいるかもしれませんが、高齢者の方々と会う場合にはマスク着用を忘れず、同居家族以外との会食は控えるようお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大は、県民の皆さま、各事業者、来訪者の皆さまが協力していただくことによって、押さえ込むことができます。

引き続き、一丸となって頑張ってください。よろしく申し上げます。